



出町ゆかりだより

日本共産党
高槻市議員

発行：日本共産党高槻市議員団 出町ゆかり

連絡先：議員団控室 TEL072-674-7230 FAX072-674-3202

NO.69 2017年3月

どの子どもも安心して暮らせる仕組みを （子どもの貧困対策）

子どもの貧困率が増え始めたのは1998年前後です。1996年に労働法制が改悪され、派遣労働を拡大、その後、原則自由化し非正規労働者を急激に増やしました。

大阪府の非正規雇用労働者の率は41.3%、全国で4番目に高く、ワーキングプア率は14.2%、全国2番目です。それと関連し大阪の子どももの貧困率は21.8%、全国2番目に高い状況です。

子どもの貧困の実態調査

「大阪府こどもの生活に関する実態調査」の単純集計の結果を大阪府が公表しました。

調査は小学5年生、中学2年生とその保護者、8000世帯を対象に実施。調査で目立ったのは貧困の拡大の実態です。昨年1年間の状況で「家計が赤字」と答えたのは、4世帯に1世帯。「貯蓄ができていない」世帯は35.4%。また、約3%は「経済的な理由で、子どもに医療機関を受診させられなかった」と答えています。

子どもの貧困を見逃さない

仕組みづくり

ひとり親家庭などを中心に、家庭の困難さは子どもの歯にも影響を与えていると指摘されています。保護者が仕事で

忙しい子どもに、関われぬ状況などあります。子どもの着ている服が季節に合っているのか、子どもが発信するいろんな事象に気づくことが大事です。

日本共産党市議員団は子どもの体格や視力、虫歯の状況から見えてくる貧困などを把握するなど、学校や就学前の児童施設での、子どもの貧困を見のがさない仕組みづくりに求めています。

子ども

居場所づくり、

学習支援について

地域で困難を抱える子どもを、どのようにつけ、地域で支えるのか、子どもが立ち寄りやすく、

おとなが、そつと子どもたちを見守ることができる居場所が全国でつくられ始めています。

地域で自主的につくりだしているもの、NPOで実施しているもの、行政がかかわっているものなど、形態はさまざまです。高槻市でも学習支援などはどこで実施するのが一番効果的なのか、検討し支援をすることは必要です。

子ども、ひとり親家庭への医療費助成拡充を

大阪府の市町村への補助は、全国で比較しても少ないです。大阪府に補助金の増額を、要望することが必要です。

高槻市も『医療費助成は子育て世代の経済的負担軽減に寄与している』と市議会で答弁しています。

ホットコーナー

市バスの乗車券のICカード化が進みます。2018年10月から今ある紙回数券もICカード化が予定されています。

それにともなつて、市バスから市バスへと乗り継ぐ場合、一乗車めから二乗車めの間が60分以内なら、一乗車目が220円から120円と100円割り引かれます。



服部図書館の行政サービスコーナー

市長へ要望書提出

今年の9月から、市内9か所の行政サービスコーナーをとりやめるという市の方向が出されました。

それについて服部地域では、反対の声があがっています。2月27日、清水地区コミュニティ協議会・北清水連合自治会・真上コミュニティ協議会の代表の方々が濱田市長へ服部図書館の行政サービスコーナーを存続させるようにと「要望書」を提出しました。わたしも立ち会いました。

男女共同参画会議

2月13日、男女共同参画会議が開かれました。今の「高槻市男女共同参加計画」の期間は2013年度から2022年度までの10年間です。今年はこの中間見直しの時期です。2015年に行った市民の意識調査が公表されました。わたしは4点について発言しました。

① (質問)

職場・家庭・地域において、どの項目をみても平等感、男性よりも女性のほうが低くなっている。国の制度の責任でもあるが、給与は女性のほうが低く、働き方も非正規・パートなどの差もある。市として職場での男女平等の意識をどうつくっていくのか。

(答弁)

具体的には企業等へ雇用機会均等法の履行やセクシャル・ハラスメント防止などの啓発の促進、労働相談や法律セミナーに実施などを中心に取り組んでいく。

② リプロダクティブヘルスの取り組みについて、気軽に相談でき

「リプロダクティブヘルス」とは、差別や強制を受けずに子どもを産むかどうかを自由に決めることは女性の権利であると同時にどんな間柄で何人産むか、産まないか、それを決めるのは全てのカップルと個人が自由に決めるのが基本的権利であるとも言われている。

まだまだ、この意味は知られていない。ぜひこの言葉が生まれてきた歴史と背景も含め、学習の場を広げてほしい。

③ 性的マイノリティーについて
性同一性障害について、自分のことと体に違和感を持っている子どもがいる。そのときに、気軽に相談でき

るように、教職員など

周囲が正しい知識をもつことが必要。保健室の先生や教職員への性教育を定期的に実施してほしい。

④ 避難所マニュアルに女性の視点からの備蓄品を購入、避難所へ備蓄したとあるが、障がいを持っている人の視点からの備蓄品も考えてほしい

日本の女性の地位は世界の中で70位以下だと言われています。男女平等を実現するには、まだまだ時間がかかると思いますが、少しでも近づくようにがんばりたいと思います。

市街地整備特別委員会

JR京都線高架化の報告される 市の負担は百億円単位になる見込み



(市が特別委員会に提出した資料より)

市はJR京都線芥川以西から総持寺新駅間(約3.4km)の高架化を高槻市、茨木市、JR西日本、大阪府(オプザーバー参加)で構

成される「鉄道高架化勉強会」で検討しています。危険なJR富田ガード下や「開かずの踏切」の富田村踏切などの課題を解決するとしています。

日本共産党は、老朽化している公共施設の更新に今後約4700億円(市試算)かかるなど高槻市の厳しい財政状況を示し、市の負担だけで百億円単位になるような手法で課題を解決するべきではないと主張しました。

JRガード下の拡幅を 府に引き続き強く求めるべき

進めるべきはこれまでも市や議会、住民が大府に要望してきたJR富田ガード下の拡幅です。また、阪急踏切の渋滞解決のため(阪急の)高架化が長年、議論されてきました。「阪急の課題を通り越して、JRの高架化など到底住民の理解

は得られない」と指摘しました。他の委員からも「全てが解決するかのようになっているが、こんなものは夢みたいな話だ」「富田村踏切などの」当面の安全対策をしっかりと示すべき」と批判的な意見があがりました。